

たき火でマインドフルになる山荘の旅

一泊二日 三食山付き

The un-designed journey  
Taki full

"BOSCO" @Hadano city (vol.2)

Produced by  
コンニャクヤ畠

冷えていても  
柔らかい空気の音

都会の喧騒に溺れ

夢も 星空も

明日さえも  
見えなくなってしまった

君のことを想う

忘れない過去は

避けられなかつた運命は

もう全部

たき火で燃やそう

一泊二日 三食山付き

これが「たきふる」だ

The un-designed journey

# Takíbi de

自然を感じてただ呼吸する  
考えない 考えてはいけない  
たき火を囲んでマインドフルになる1泊2日



横浜市は妙蓮寺  
コンニャク屋から約2時間  
秦野市大山で焼きたての安納芋を味わう  
しあわせと この旅の主役を あなたに

急がない 頑張らない  
無理しない 懈まない  
言葉さえ忘れて 芋を包み 焼く  
無垢な心で  
おいしい芋の焼き方をさがす  
一日という時間の  
贅沢な使いかた

この旅の名前は  
そんなコンセプトから  
生まれた  
たき火で  
マインドフルになる



体で感じて

感覚で対話する

風も 摆らぐ炎も 杉の枯葉さえ

何を伝えようとしているか  
わかるようになる

言葉じやないんだよ

そういうのじやないんだよ

ここにきて  
薪木をくべてみるといいさ

ただ燃やすだけ

炎を見つめるだけの時間

それがマインドフル  
つまり人生ということ

The un-designed journey  
*mindful*

火を灯し 焚べる薪木が心の暖炉  
滾る炎 肉の焼ける音 冬の大三角  
これぞ必勝の理 乾杯

室内キッチンは充実してる  
野外の火窓はワイルドな直火  
焼けば何でも美味しいから もう全部焼く  
ずっとたのしい これはいいぞ



鳥の声 野菜の香り  
火の温度 焦げ目の色づき  
溪流の調べに 潤おされてゆく  
五感の全てで作り  
味わうからか  
ここでは 何を食べても美味しい

窓の隙間から  
水の流れる音が聞こえる  
空気や鼓膜だけでなく  
身体いや時間と空間  
その全てが



by "Taki Full" vol.2 editor

季節：虫のいない秋(11月頃)

プラン：1泊2日(基本土日祝)  
3食/間食/飲み放題付き  
お子様可・ペット可  
価格：全込み¥16,000程度  
(人数によって安くなります)

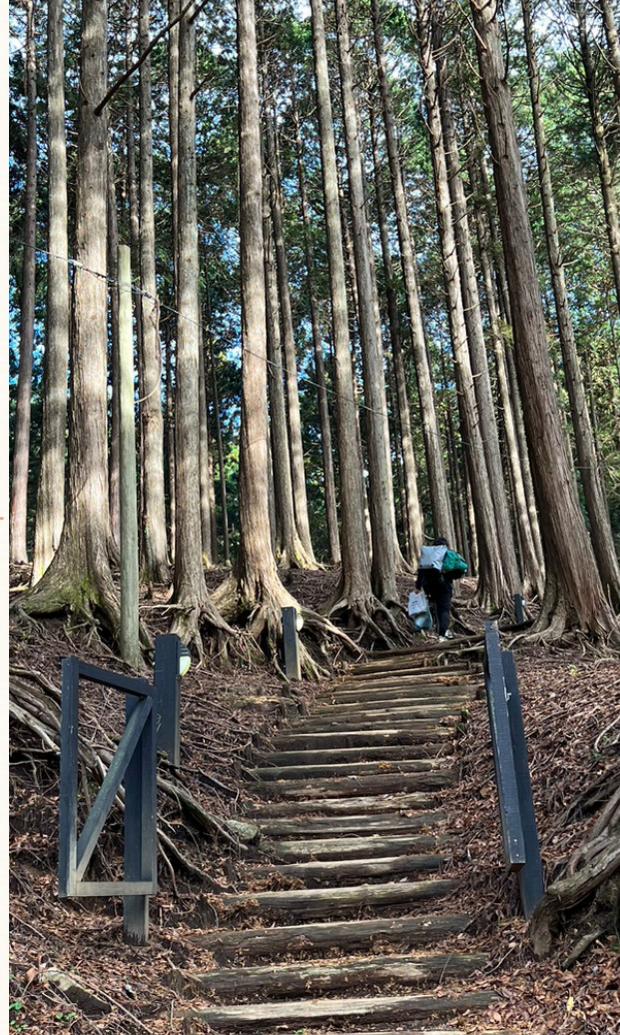
募集：Driver(1名)  
持ち物：着替えとバスタオル持ってきて

## Join and Entry

ぼくたちは、今年もこの旅を続けることにした。来年もきっとそうだ。またここに足を運んでいるだろう。この旅路は、常に開かれている。予定がないことに。余白がないならば、マインドフルになろう。なお

疲れた時は、  
たき火をする  
だいたい良くなる。

令和3年のこと。新型コロナウイルス感染症の流行が一時おさまり、外出制限が緩和された。度重なるテレワークに閉塞しきふと癒されたくなつたのが、ことの始まりだった。



山荘：2LDK + 山付き  
8名宿泊可

料理：IHと温熱ヒーター一つずつ  
たき火、BBQグリル台

野外：渓流釣り体験  
紅葉・杉林  
澄んだ空気、夜空

## Environment

秦野市は大山。標高は一千五百メートルといつたところだ。下界より数度、気温が低く、空気は澄み渡っている。紅葉狩り、渓流釣り、バーベキュー。大自然の中で、存分に羽を伸ばすことができる。近くには、サンショウウオも生息しているらしい。寒ければ、山荘にこもつてもいいだろう。それもまた一興だ。

キッチンは広く、焚き火で料理をすることもできる。気張らず、芋やリンゴを焼けばいい。食べて寝て、夜空を見上げる。星空から舞い降りてくる、やさしく冷たい風が、頬をなでおろす。大満足な世界がある。

# *bedrooms*

二段ベッドの部屋と4名の和室がある

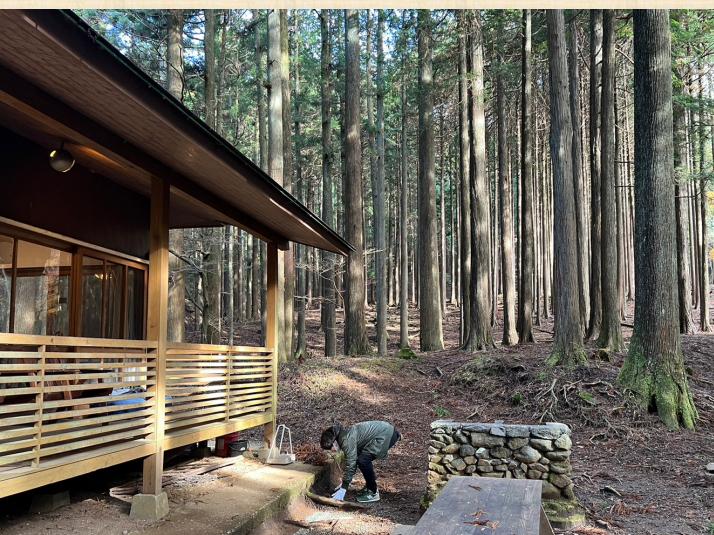
皆が寝静まった頃に「もう寝た？」と誰かが言う。  
「次喋ったやつ負けな！」と言ったやつが喋る。  
頭から足の先までの空間がやや狭いが、この部屋  
は楽しい。よく暖房が効くので、身に沁みる暖か  
さがある。



# *deck*

朝、ホットサンドを食べながら  
ここでコーヒーを飲むと最高だ

ただ座って、コーヒーを飲む。それだけなのに、  
悠久を感じ、感動しさえする。ウッドデッキって、  
いいよね。鳥のさえずり、小川のせせらぎ。ここ  
で自然を浴びよう。



# *garden*

8名テーブル、火窓は二つ  
空を見上げるウッドチェアが2つ

庭というより、山がついている。杉の枯葉や小枝  
をあつめ、薪木とともに焚き火に焼べる。収容可  
能人数は無制限。自由だ。走ってもいい。寝転  
でもいい。例えば串で焼いた肉があったとして、  
それは、どこで食べてもいいということになる。  
暖かい日には、すぐ下にある川で遊ぼう。

(たきかる) 固有名刺(不可算)

焚き火でマインドフルになること。  
また、そうなるための旅路のことを指す。

炎の深淵に映る俗世の偽り。

身を清め、心を洗い、

ただ焼き芋と熱燗を感じて己と向き合う





Open fire, nothing anymore



## 自家製ホットサンド

たき火でホットサンド  
作ってみたんだけどさ  
これが美味しいし楽しいのよ

今回は  
チョコバナナサンドと  
マヨケチャハムチーが  
ラインナップ

焼き加減が難しいけれど  
そこはおれに任せてくれよ

外はパリッパリの  
中はトロトロに仕上げるからさ

## Outdoor specialties

### しっとり安納芋

焼き芋って  
意外とコツがいるの知ってた？

新聞紙に包んでから  
アルミホイルでさらに包んで  
焚き火の中に入れるんだけど

思っている以上の、  
さらにそれ以上に新聞紙に  
水分を含ませなくちゃいけない

火の入れ具合によっても  
柔らかさは変わってくる

この山で食べるなら  
甘い蜜がジワリと滲む  
アツアツの焼き芋が  
一番美味しいかもしれない



## 赤身本マグロ造り



柵どりした魚を造る  
もう3度目になるから  
職人技の域に至る

昨年は2kgのブリを  
ずっと引いていた

醤油、わさび、白髪ねぎ

これさえあれば、  
すぐに一杯、したためられるさ

来年は、でっかい魚、買っていこ

*Indoor  
cooking*

## 鍋・温菜いろいろ

現代型のキッチンは便利  
コンセント一つで  
どこでも必要な火力が得られる

ゲストの前で鍋をするもよし  
裏方で仕込むもよし

食材と調味料さえあれば  
ほとんどの調理器具は  
ここに揃っている

鍋でお湯を沸かすのだけ  
時間がかかるね

さて、何品つくれるか。  
食材と向き合う、  
至高の時間。



# Natural Party

各々が酒を飲みながら  
やりたいことをする



自然な遊びの時間

大人になつて  
こどもの頃の遊び  
足りなかつたのは  
用意されていない  
体验すること

上手くできなくて  
焦げてしまつても  
おもしろい味  
工夫し協力し  
知恵をしづるから  
そんな不便さに  
本当の遊びがある  
料理もできない  
火を守らないと  
自分で準備して  
皆で食べる  
わざわざ  
便利つ  
実は物足りない  
都会では  
お金払つて  
作られた遊びが  
提供される  
大人になると  
だんだんと自然な  
遊び方を忘れる



# Mindful Night

少し寒いくらいがいい  
焚き火がとても暖かい



焚きビストは火を絶やさない  
炎が与える安心は  
マインドフルな夜を過ごそう  
マシュマロとともに  
夜にこそ最高潮を迎える



# Tips of this journey

自然の中で過ごす、最高にマインドフルな時間を過ごすためには、準備が必要だ。  
クーラーボックスに調味料を入れて、趣味のグッズをカバンに忍ばせてゆく。  
備忘録を兼ねて、この旅をさらに充実させる工夫を記しておきたい。

## 【この旅のコツ】

石油ストーブ満タンでお願いする  
冷蔵庫を一番に冷やす  
気を抜いたら鍋焦げる  
2~4mの延長コードいる  
金ぐし・ザル・わりばし  
コップ類と取り皿  
新聞紙・アルミホイルたくさん  
キッチンタオル/ペーパー  
バスタオル・スリッパ必須  
ちゃんと火が付くチャッカマン  
防寒グッズまあまあ必要  
コーヒー最高  
釣りしてもいいな  
でかい魚あるとたのしい  
でかい肉も焼けることがわかった  
スギ花粉は注意  
マシュマロ・チャーシュー・安納芋優勝  
ホットサンドのチョコバナナおいしい  
地鶏の網焼き・肉の直火焼きよかったです  
柚子は余ったら風呂に入れるといい  
布団は8組あった  
炊飯器で米は炊ける  
結構ごはん買っても意外と食べる  
早めに帰って妙蓮寺でブリーフィングもあり  
山に入ると時間の感覚がおかしくなる  
このあたりはサンショウウオの生息地



## Kitchen items



# Timeline

daily life

Tokyo

???

Yokohama

8:30 (9:00)

connyaku-house



11:00

Shopping

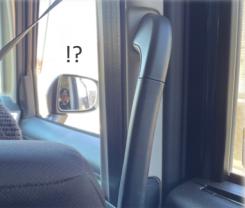


13:00

Bosco Camp site

Lunch

Break time



15:00

Mindful

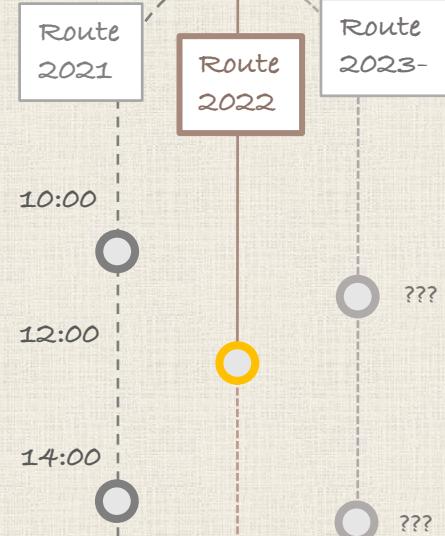
Activity

Party



22:00

Sleep out



# Memory

今回も、かなりよかったですんじゃね？  
結構安いのに充実の一泊二日。場所も近い  
のに、圧倒的な非日常。旅行だなんて構え  
ずに、「ちょっと遊びに行く」くらいの感  
覚で来れてしまう。

12月に入っていたから、気温とかも心配  
だったけど、全然問題なかった。少しあつ  
たかい格好をしていけば大丈夫。途中で服  
も買えるし。

秦野市のBosco、もう常宿だから、次は10  
人くらいで泊まろう。

大丈夫。  
おれたち、野菜も育ててるからさ。

Taki fullはたのしい。秋や冬こそ山がいい。

荒んだ心は清められ、  
自然が胸いっぱいに溢れてくる。  
おれたち、満足しちゃったかもしれない。

ああ…、あした仕事やめようかな。



## Staff (Recruit)

### Position: "P"

Planner: Keisuke Ikeda

Photographer: ???

### Position: "D"

Driver (first): Masaki Hiraga

Driver (second): ???

Designer (Travel report): ???

Dog runner: ???

### Position: "C"

Chef (Western): Jiro Sakamoto

Chef (Japanese): ???

Cheerleader: ???

### Position: "A"

Assembler: Kento Narushima

Artist (Mindful Music): ???

Alchemist: ???



File: 20221203x-Taki full(vol.2)  
Written by Taki full editor 2022



コンニャクヤ畠  
The un-designed journey  
 **Taki full**  
"BOSCO" @Hadano city



Summary

Access: ★★★★★

Price : ★★★★★

QOL : ★★★★★